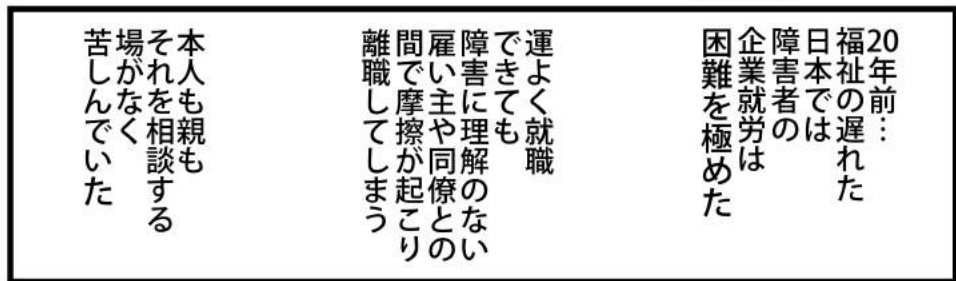
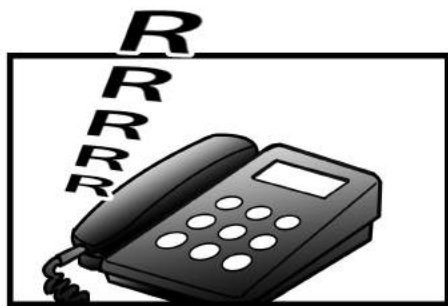


# 先駆者から開拓者へ

親の会K O Y Oクラブ20年の軌跡







開校2年目を  
迎えていた

そんな時代  
特別支援学校※で  
ありながら  
100%企業就労を  
目標に掲げる  
流山高等学園は

※当時の名称は養護学校



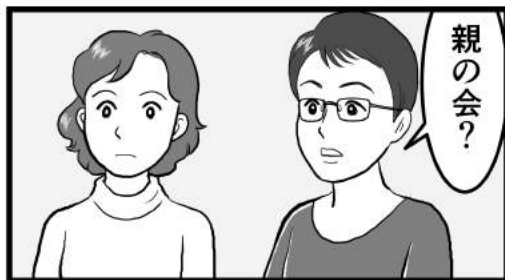
藤田教頭

親の会が  
あった  
方がいい



卒業したら  
活動範囲も  
広がるし  
心配だわ  
就職しても  
うまくいか  
なかつたり  
離職したら  
どうしたら  
いいの...?

はあ



親の会？



じつは親同士の連携で  
卒業後の支援に  
取り組んでいるケースが  
千葉大教育学部の  
附属養護にある

それをモデルにして  
わが校でも同じような  
ものを作れない  
だろうか

初代教頭の藤田俊明氏の  
アドバイスにより  
PTA本部役員が  
中心になり親の会の  
準備委員会が立ち上がった

会の名称は『親の会 K O Y O  
クラブ』に決定した

とにかく  
どこかに  
活動拠点が  
必要だわ

そうね  
なるべく学校の  
近くがいいわね

閑静な住宅街に  
一時的に家を貸して  
くれる人がある  
さっそく引越しをした

しかし…

この家最近  
いろんな人たちが  
頻繁に出入りする  
ようになったわね

どういう  
人たちが  
なのかしら…

自治会から説明  
してほしいと  
連絡があったわ

大丈夫  
でしょうか

悪いことをして  
いるわけじゃ  
ないんだから  
話せばわかって  
くれるはずよ

近隣住民との話し合い  
では不特定多数の  
人の出入りに難色を  
示す人もいたが

説明会会場

きちんと説明  
することで  
誤解を解く  
ことができた

理解して  
もらえて  
よかったわね

すると活動を  
オープンにし  
たことで  
思いがけない  
話が舞い込んだ

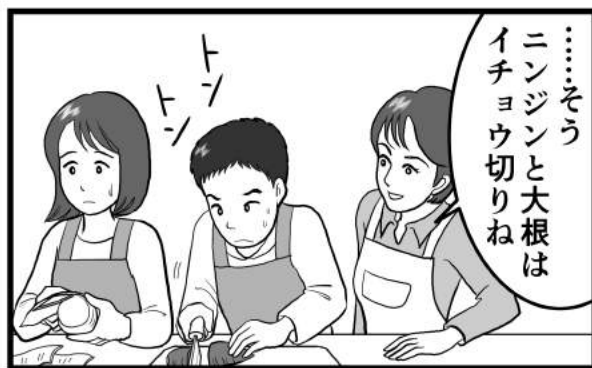
え!? 空き地を  
使わせて  
いただけ  
るんですか!?

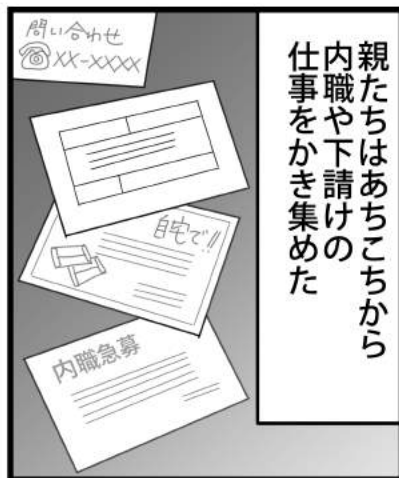
うん  
竹やぶ  
お役に  
立て  
るなら

やった

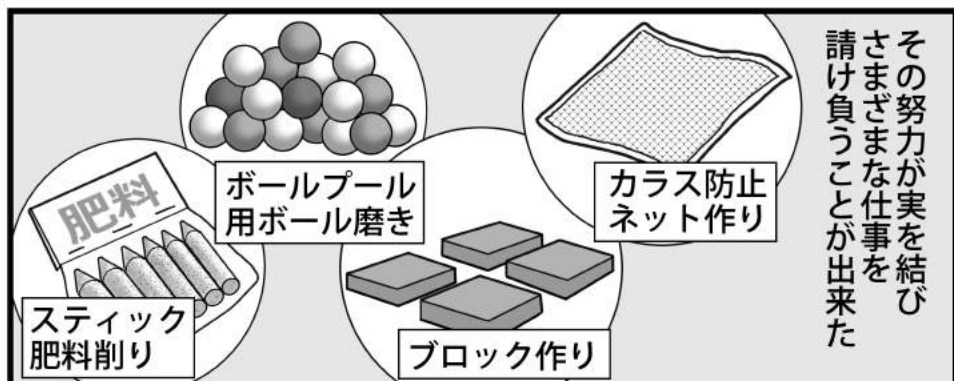
すでに  
離職者が  
2名出ており  
活動場所の  
確保は急務…

二つ返事で  
土地を借り  
メンバー自  
ら竹やぶを  
切り開き  
草を刈って  
整地をした





親たちはあちこちから  
内職や下請けの  
仕事をかき集めた



その時期から「生活・就労支援センター」ができてはじめて連携できるようになった

うちで再就職を支援しますよ

さらに特例子会社(株)パソナハートフルと業務提携し

パソナハートフル  
アート村工房  
流山

クラブハウスの一棟に同社の工房を開設した

よろしく  
お願いします



生活・就労支援を目的に設立されたKOYOクラブは20年という歳月を重ねその活動の幅をどんどん広げている

講演会・勉強会



音楽



サークル活動



本人の会



レクリエーション



子どもたちにとっては、指導者や仲間と過ごす時間が日々の活動の意欲へとつながり…

親にとっても貴重な情報交換や息抜きの場になっている

あら…それが公的な補助が出るわよ

え!?!  
くわしく  
教えて!!

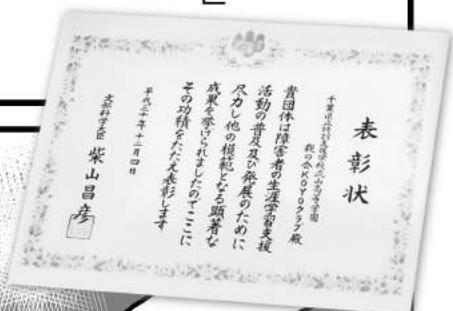




2018年  
設立以来20年に  
わたり行ってきた  
「子どもたちへの  
余暇活動・自立支援」  
に対する取り組みが  
評価され  
文部科学大臣から  
表彰された

がんばって  
きたことが  
認められて  
うれしい  
わねえ

新しい  
会員さんも  
どんどん  
活動に  
かわって  
欲しい  
ですね！



その出発点は  
20年前の  
先輩たちの行動……

20年の歳月に  
記された  
さまざまな点が  
線になり今がある

そのことを  
忘れては  
いけない……

この会の運営は  
すべて会員たち……  
つまり障害の子を持つ  
親たちの手で  
行われている

一度参加すれば  
助け合う場があることの  
ありがたさを実感できるはずだ

構成・作画/稲川久実

# Fin

この漫画は関係者のインタビューや資料をもとに構成していますが、一部省略や想像で補填した部分があります。なにとぞご了承ください。

# 先駆者から開拓者へ

親の会KOYOクラブ20年の軌跡



2019年10月1日 発行

構成・作画 ——— 稲川久実

発行所 ——— 千葉県立特別支援学校流山高等学園

親の会KOYOクラブ

〒二七〇一〇二三 流山市野々下二の六五二の一

電話 〇四一七一四七一二五二四

印刷・製本 ——— 株式会社プリントバック

禁無断転載・複写・配信

*20th Anniversary*



親の会KOYOクラブ